

令和3年度原子力防災訓練等の検証結果と対応（概要）

原子力防災訓練（10/15実施）、ドローン運用訓練（10/18、19、21実施）、オフサイトセンター運営訓練（11/17実施）及び災害対策本部運営訓練（11/24実施）の主な検証結果と対応は次のとおり。

	検証結果	対応（令和4年度当初予算計上等）
1	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる感染症対策の着実な実施を検討（広域避難訓練や緊急時モニタリング訓練） (原子力防災訓練) 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策（検温、手指消毒、パーティション設置、ソーシャルディスタンス確保等）の更なる徹底
2	<ul style="list-style-type: none"> ・避難の実効性を高めるため、徒歩以外の要配慮者を搬送する訓練の実施を検討 (原子力防災訓練) 	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子等が必要となる要配慮者の避難手順を確認できる避難訓練の実施
3	<ul style="list-style-type: none"> ・実際のドローン飛行映像による道路損壊箇所の識別は容易ではないと予想されるため、映像分析を行う要員の熟練度向上が必要 (原子力防災訓練) 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生地点の速やかな特定や意思決定の迅速化を図るため、ドローンで撮影した映像をAI解析し、避難経路等の状況や土砂災害等の発生位置を特定するためのシステムの構築 (原子力防災ドローンオペレーション強化事業費【拡充】)
4	<ul style="list-style-type: none"> ・放射性物質放出後における緊急時モニタリング要員の安全確保に係る明確な指示が必要 (原子力防災訓練) 	<ul style="list-style-type: none"> ・国とも協議のうえ、緊急時モニタリング要員の安全確保に係る指示を検討
5	<ul style="list-style-type: none"> ・画質向上や、通信回線の冗長性確保、飛行ルートの子由化を図るため、LTEを活用したドローンの本格導入を検討 (ドローン運用訓練) 	<ul style="list-style-type: none"> ・従来のアナログ通信に加えLTE通信を組み合わせたハイブリット通信ドローンを整備 (原子力防災ドローンオペレーション強化事業費【拡充】)
6	<ul style="list-style-type: none"> ・県災害対策本部とオフサイトセンター機能班等が連携する訓練を実施し、要員の対応能力の更なる向上を検討 (オフサイトセンター運営訓練) 	<ul style="list-style-type: none"> ・オフサイトセンター（国）と連携したブラインドによる図上訓練の実施
7	<ul style="list-style-type: none"> ・県災害対策本部内における迅速な情報共有のため、原子力防災システム（N I S S）の追加配備等の環境整備を検討 (災害対策本部運営訓練) 	<ul style="list-style-type: none"> ・県災害対策本部内において円滑に情報共有を図ることができるよう資機材整備を実施